

日本物理学会領域2運営会議 議事録

日時: 2015年9月17日(木) 12:00-12:30

場所: 関西大学千里山キャンパス CN会場

司会: 領域2代表 藤澤彰英

書記: 領域2役員 本多充

出席者: 約30名

報告事項

1. 2015年10月からの新役員体制について報告があった。
 - 次期代表は金沢大の上杉喜彦氏
 - 次期副代表に京都工繊大の政宗貞男氏を推薦。拍手で認められた。
 - 新役員候補3名(後藤、高橋、森田各氏)が、新役員として拍手で認められた。
2. 学生優秀発表賞に関する報告があった。
 - 2015年3月年次大会では、応募総数26件、内5件を選出。
 - 今秋季大会は25件の応募があった。
3. 若手奨励賞(第10回(2016年))について
 - 応募総数4件、選考委員は6名、選考委員会委員長は米田氏。2件(九大小菅佑輔氏、NIFS 沼波政倫氏)を理事会にて選出予定。
4. 2015年第71回年次大会 招待講演(一件)・シンポジウム(四件)の提案について審議を行った。
 - 招待講演(「ジャイロ運動論的場の理論の進展」: NIFS 洲鎌英雄氏)一件とシンポジウム(「ヘリシティー」: 東大 吉田善章氏・主領域は領域11、「プラズマ診断のための能動的計測の新展開」: 京大 蓮尾昌裕氏、「プラズマ科学と理科教育: 学校教育における活用を目指して」: 富山大 成行泰裕氏・合同領域は領域13、「クロススケールサイエンス・極限的非平衡状態における多階層構造結合の科学」: 阪大 兒玉了祐氏・合同領域はビーム)四件の提案があった。
 - 当該招待講演を領域2として推薦することについて、拍手で認められた。
 - 当該シンポジウムを領域2として推薦することについて、拍手で認められた。
5. 領域委員会の報告
 - 概要集の変更について。変更案1: 複数の講演を1つのpdfに収めてダウンロードできるようにする、は秋季大会から対応。要望があれば本部に上げる。
 - 若手奨励賞について、ダブル受賞(異なる領域での受賞)を可能にした。審査員は非会員でも可能だが、人数割合については留意。
 - 核物理領域は、学部学生のポスターセッションのパイロット事業の提案
 - 素粒子実験は12分講演+3分質疑を提案、却下。
 - 領域4は領域名略称が変更された。「局在」→「量子輸送」
 - 設立70周年事業について、企画があれば提案を。
6. その他の案内。

- 物理学会論文賞（11月頃締切）。JPSJ,PTEP への投稿を勧める。
 - Young Scientists Prize (IUPAP C16)など
 - 科研費細目分科の再編成が進んでいる。今年中にパブリックコメントが実施される予定。
7. 2015年9月秋季大会講演数について報告があった。
 - 今秋季大会は128件の講演（ビーム物理と合同の30件も入っている）。
 - 物理学会の全体の講演数の推移を調べる。
 8. 拡大物性委員会の案内があった。
 - 拡大物性委員会の日程を固定して開催したい意向で、その日程を見つつ領域2のインフォーマルミーティングの日程を決定する。
 9. 3学会合同会議（物理学会、天文学会、地球惑星圏学会）の案内があった。
 - 天文学会主体で、3月14-17日@首都大学東京。天文学会の内部で行われる。
 - 次の担当は物理学会。
 10. 領域2MLへの加入を呼びかけた。
 11. 懇親会への当日飛び入り参加を呼びかけた。
 12. 日本学術会議23期（2014年10月～）の活動についての報告があった（伊藤公孝氏出席、藤澤氏代読）。
 - マスタープランについて。「非平衡極限プラズマ研究連携全国共同ネットワーク計画」はマスタープラン（カテゴリーI）重点計画に採択、文部科学省策定のロードマップ2014の課題として残っている。核融合関連ではJT-60SAとLHDを合わせた計画「高性能核融合プラズマの定常実証研究」がカテゴリーIIに残っている。改訂作業を進める。物理学分野は微調整となりそう。
 - 科学技術基本計画と大学等の中期目標中期計画の新たな期間が始まる機に、物性物理学・一般物理学の基礎研究進行の方法を検討。「選択と集中」と並び補完する方針提案を目指すワーキンググループを設置。
 - 物理学教育に関して、「物理学分野の質保証検討分科会」に協力。「物理教育研究」ワーキンググループを設置。
 13. 吉田善章氏から自身が提案するシンポジウムに関する案内があった。

以上